



ちゅういっぴ組だより<11月号>

令和5年 11月 24日 ことり保育園 担当：野口

11月に入っても、暑い日が多かったですが、やっと木々が色づき、秋の深まりを感じます。先日は、保育参観にご出席いただき、ありがとうございます。お父さん、お母さんと一緒に楽しく過ごせてよかったです。

青空の広がる日は外に出ることを喜び、戸外遊びや散歩など、あちこち歩き回っては探索に夢中です。てんとう虫のすべり台を上手に滑ったり、いろいろな玩具を手にしたたり、バケツに砂を入れて持ち歩いたり、たくさん動き、見る物、触れる物に目を輝かせています。

また、一緒に園庭で過ごす、もも組さんの遊びにも興味を示し、同じようにテーブルベンチに座ったり、キッチンコーナーに入ってまごとして「どうぞ」「おいしい」などのやり取りも模倣しています。一人一人が多くの友だちと過ごすことで刺激を受け、遊びが広がり、意欲を高められると思います。

最近、月齢の大きな子から少しずつ「いた!」「(い)ない(い)ないば〜」「ね〜ね〜」「バイバイ」など発語が見られるようになりました。絵本のことばや保育者の言ったことを真似て言おうとしたり、大好きなアンパンマンを見つけると、

「(アン)パンマン、(アン)パンマン」と嬉しそうに知らせてくれます。

また、「タッチ〜!」と友だちや保育者と、手と手を合わせたり、朝や帰りには友だちのお父さんやお母さんにも「タッチ〜!」と手を伸ばして催促し、手を合わせてもらえたときの喜ぶ姿に、私達も心が和みます。

これからも、保育者が一緒に遊ぶ中で、いろいろな経験を出来るようにしていきたいと思っています。



〜かみつきについて〜

0・1歳児は、発達過程で、人との関わりを覚えていく時期です。物や場所の取り合いもその1つですが、最近には特に“かみつき”が多く見られています。

少しでも、改善出来ればと玩具を多めに用意したり、保育者もゆとりを持って子ども達一人一人との関わりが持てるよう、工夫をしています。

何卒、ご理解いただきたく
お願いいたします。